

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	お茶の水女子大学			設置者名	国立大学法人お茶の水女子大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
文教育学部	人文科学科	55人	中一種免(社会)	平成8年度	60人	12人	9人	2人
			高一種免(地理歴史)	平成8年度			11人	
			高一種免(公民)	平成8年度			3人	
	言語文化学科	80人	中一種免(国語)	平成8年度	87人	17人	8人	2人
			高一種免(国語)	平成8年度			9人	
			中一種免(中国語)	平成8年度			0人	
			高一種免(中国語)	平成8年度			0人	
			中一種免(英語)	平成8年度			8人	
			高一種免(英語)	平成8年度			8人	
	人間社会科学科	40人	幼一種免	平成8年度	48人	9人	3人	1人
			小一種免	平成8年度			3人	
			中一種免(社会)	平成8年度			3人	
			高一種免(公民)	平成8年度			4人	
	芸術・表現行動学科	27人	中一種免(保健体育)	平成8年度	25人	11人	4人	0人
			高一種免(保健体育)	平成8年度			4人	
中一種免(音楽)			平成8年度	5人				
高一種免(音楽)			平成8年度	7人				
理学部	数学科	20人	中一種免(数学)	昭和29年度	24人	14人	14人	3人
			高一種免(数学)	昭和29年度			14人	
	物理学科	20人	中一種免(理科)	昭和29年度	23人	8人	7人	0人
			高一種免(理科)	昭和29年度			8人	
	化学科	20人	中一種免(理科)	昭和29年度	21人	7人	7人	0人
			高一種免(理科)	昭和29年度			7人	
	生物学科	25人	中一種免(理科)	昭和29年度	25人	6人	6人	0人
			高一種免(理科)	昭和29年度			6人	
	情報科学科	40人	中一種免(数学)	平成3年度	43人	8人	7人	0人
			高一種免(数学)	平成3年度			8人	
高一種免(情報)			平成13年度	6人				
生活科学部	食物栄養学科	36人	栄教一種免	平成17年度	38人	5人	3人	0人
	人間生活学科	65人	中一種免(家庭)	平成5年度	81人	4人	4人	4人
			高一種免(家庭)	平成5年度			4人	
入学定員合計		428人	合計		475人	101人	190人	12人

大学名		お茶の水女子大学(大学院)		設置者名		国立大学法人お茶の水女子大学									
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)										
研究科	専攻	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数							
						実数	個別								
人間文化 創成科学 研究科	比較社会文化 学専攻	60人	中専免(国語)	平成19年度	71人	17人		8人	6人						
			高専免(国語)	平成19年度			8人								
			中専免(中国語)	平成19年度			0人								
			高専免(中国語)	平成19年度			0人								
			中専免(英語)	平成19年度			1人								
			高専免(英語)	平成19年度			1人								
			中専免(社会)	平成19年度			4人								
			高専免(地理歴史)	平成19年度			2人								
			高専免(公民)	平成19年度			2人								
			中専免(保健体育)	平成19年度			0人								
			高専免(保健体育)	平成19年度			0人								
			中専免(音楽)	平成19年度			4人								
			高専免(音楽)	平成19年度			4人								
			中専免(家庭)	平成19年度			0人								
			高専免(家庭)	平成19年度			0人								
			人間発達科学 専攻	人間発達科学 専攻			27人	幼専免		平成19年度	33人	2人		0人	1人
								小専免		平成19年度			1人		
								中専免(国語)		平成19年度			0人		
								高専免(国語)		平成19年度			0人		
								中専免(社会)		平成19年度			0人		
高専免(地理歴史)	平成19年度	0人													
高専免(公民)	平成19年度	0人													
中専免(数学)	平成19年度	0人													
高専免(数学)	平成19年度	0人													
中専免(理科)	平成19年度	0人													
高専免(理科)	平成19年度	0人													
中専免(音楽)	平成19年度	0人													
高専免(音楽)	平成19年度	0人													
中専免(美術)	平成19年度	0人													
高専免(美術)	平成19年度	0人													
高専免(工芸)	平成19年度	0人													
高専免(書道)	平成19年度	0人													
中専免(保健体育)	平成19年度	0人													
高専免(保健体育)	平成19年度	0人													
中専免(保健)	平成19年度	0人													
高専免(保健)	平成19年度	0人													
高専免(看護)	平成19年度	0人													
中専免(技術)	平成19年度	0人													
中専免(家庭)	平成19年度	0人													
高専免(家庭)	平成19年度	0人													
高専免(情報)	平成19年度	0人													
高専免(農業)	平成19年度	0人													
高専免(工業)	平成19年度	0人													
高専免(商業)	平成19年度	0人													
高専免(水産)	平成19年度	0人													
高専免(福祉)	平成19年度	0人													
高専免(商船)	平成19年度	0人													
中専免(職業)	平成19年度	0人													
中専免(職業指導)	平成19年度	0人													
高専免(職業指導)	平成19年度	0人													

		中専免(英語)	平成19年度			1人	
		高専免(英語)	平成19年度			1人	
		中専免(中国語)	平成19年度			0人	
		高専免(中国語)	平成19年度			0人	
		中専免(宗教)	平成19年度			0人	
		高専免(宗教)	平成19年度			0人	
	ジェンダー社会科学専攻	中専免(社会)	平成19年度			0人	
		高専免(地理歴史)	平成19年度			0人	
	18人	高専免(公民)	平成19年度	16人	0人	0人	0人
		中専免(家庭)	平成19年度			0人	
		高専免(家庭)	平成19年度			0人	
	ライフサイエンス専攻	中専免(家庭)	平成19年度			4人	
		高専免(家庭)	平成19年度			4人	
	47人	中専免(理科)	平成19年度	62人	7人	3人	2人
		高専免(理科)	平成19年度			3人	
	理学専攻	中専免(数学)	平成19年度			6人	
		高専免(数学)	平成19年度			6人	
	70人	高専免(情報)	平成19年度	77人	27人	5人	9人
		中専免(理科)	平成19年度			15人	
		高専免(理科)	平成19年度			16人	
	入学定員合計	222人	合計	259人	53人	99人	18人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成25年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>						

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成25年12月9日（月）

実地視察大学：お茶の水女子大学

実地視察委員：横須賀薫委員，岩立京子委員

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等を満たしていない点が複数見受けられた。制度を理解の上，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴学における教員養成に対する理念・構想については，明確に示されているとはいえないため，理念・構想を明確化し，それを具現化するために，教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織を整備すること。

○教員養成を主たる目的とする学科等において置くことができるとされている幼稚園及び小学校の教職課程について，貴学の履修規程及び教員免許状取得状況から，目的養成とはなっていない状況が確認された。幼稚園及び小学校の教職課程を維持するのであれば，履修規程等を再構築し，目的養成としての要件を満たすように改善すること。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

○人間社会学科の幼稚園及び小学校の教職課程の「教科に関する科目」について，全ての授業科目が専門科目外の自由選択科目として位置付けられている状況が確認された。幼稚園及び小学校の教職課程を有する学科等においては，「教科に関する科目」を学位プログラムにおける専門科目に位置付け，学生に体系的に学修させることが必要であるため，速やかに是正すること。

○中学校及び高等学校の教職課程の「教科に関する科目」について，自学科等での開設を原則としている一方，教職課程の科目内容の水準維持・向上等を図る観点から，教育職員免許法施行規則に定める科目区分の半数以上を，教育職員免許法施行規則に定める科目区分の半数までは他学科又は共通開設の授業科目を充てることを可能としているが，科目区分の半数を超えて他学科又は共通開設の授業科目を充てているように見受けられた。教職課程認定基準を満たすように速やかに是正すること。

○中学校及び高等学校の教職課程における「教科に関する科目」は，一般的包括的な内容を含むものでなければならないが，一般的包括的内容を扱っている授業科目がいずれの授業科目なのかを特定できない教職課程があった。教職課程において学修させるべき内容が適切に取り扱われているかどうかを確認の上，適切に授業科目を位置付けること。

- 「教科に関する科目」として位置付けられている授業科目のうち、授業科目名称からは指導法及び教材研究に関する内容を教授していると思受けられる授業科目があった。「教科に関する科目」、「教職に関する科目」のそれぞれにおいて取り扱うべき内容は異なるため、授業内容を確認の上、必要があれば適切な科目区分に位置付けを変更すること。
- 中学校の教職課程の「教職に関する科目」について、「各教科の指導法」が教科ごとに4単位しか開設されていない状況が確認された。現行制度では、8単位以上開設することが原則となっているため、必要数分の授業科目を開設すること。
- 教職課程の授業科目は、法令において修得すべき単位数、含めるべき事項が定められている。これらについては、シラバスをもとに確認することが必要であるが、貴学のシラバスにおいては、単位数分の授業時間を開講しているかどうかを確認できない授業科目や、授業計画において各回で取り扱うテーマを明記しておらず、含むべき事項が適切に取り扱われているかどうかを確認できない授業科目が散見された。シラバスの記載内容及び記載方針を定め、シラバスの記載を改善するとともに、法令において含めるべきとされている事項を適切に取り扱っているかどうかを確認するための組織体制を整備すること。また、法令において含めることが必要とされている事項について、授業内容に含まれていない場合には速やかに是正すること。
- 認定を受けようとする課程の担当教員のうち専任教員は、当該課程を有する学科等に籍を有する者でなければならないこととなっている。しかし、幼稚園及び小学校の教職課程について、当該課程を有する学科等とは別の学科等に在籍する教員を専任教員として位置付けているように見受けられた。確認の上、速やかに是正するとともに、教職課程認定基準に定める必要専任教員を配置すること。
- 小学校の教職課程の「教職に関する科目」の専任教員の配置について、「各教科の指導法」の授業科目に専任教員を1名配置する必要があるが、配置されていない状況が確認された。速やかに是正すること。
- 中学校及び高等学校の教職課程の「教職に関する科目」の専任教員の配置について、幼稚園及び小学校の教職課程に配置している専任教員と重複している状況が確認された。教職課程認定基準では「教職に関する科目」について、同一学科内に幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の教職課程を置く場合にのみ、一部科目の共通開設が認められている。貴学のように、大学全体で「教職に関する科目」を共通開設することはできないため、人間社会学科以外の学科等に置く教職課程の「教職に関する科目」については、別に授業科目を開設するとともに、別の専任教員を2名配置すること。
- 同一学科等内においても共通開設が認められていない授業科目（教育課程及び指導法に関する科目、生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目）が幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の教職課程の授業科目として共通開設されている状況が確認されたため、速やかに是正すること。

3. 教育実習の取組状況

- 附属学校での教育実習を原則としており、同じ敷地内に立地しているという地理的利点を生かして、学校と大学が連携して実施している状況が確認された。その一方で、教員免許状を取得した後は、市中の公立学校や私立学校に就職することが多いことを考慮すると、公立学校等における教育実習の実施や学校現場体験を学生が

経験できるような仕組みを整えることも重要と考えられる。この点について、今後御検討いただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 課程認定を受けていない学科等に所属する学生が、教員免許状を取得できるかのよう
に広報及び履修指導をしている状況が確認された。教職課程は、各学科等の目的・
性格と免許状の教科等との相当関係について審査の上、その学科等において免許状
の教科等の専門性が担保されることが確認されて初めて認定されるものである。課
程認定制度の趣旨に鑑みて、このような状況は適正とは言えないため、速やかに改
めること。
- 学生に履修指導する際に配布されている教員免許状取得のために履修すべき授業科
目等が記載されている資料（「教育職員免許法に関する説明及び科目認定一覧」）に
ついて、ページごとに齟齬があったため、確認の上、速やかに修正すること。
- 教職指導は、単なる履修指導のみならず、学生が教職についての理解を深め、教職
への適性について考察するとともに、各科目の履修等を通して、主体的に教員とし
て必要な資質能力を統合・形成していくことができるように、教職課程の全期間を
通じて、大学が計画的・組織的に指導する必要がある。教員として就職している卒
業生の講演会を開催するなど、学生の意欲を引き出すような積極的な教職指導につ
いても今後御検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 文京区の学校支援ボランティアや東京都教育委員会との共同事業などの取組が実施
されていることが確認された。しかし、各部局又は各教員の自己努力にとどまって
おり、大学全体としての取組にはなっていないように見受けられた。教職に関心
のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力
や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要で
あることから、教職に係る全学的な組織を中心として、教育委員会や学校と連携・協
働し、ボランティア活動等の推進により一層努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 学習指導要領及び教科書が一部の学校種（及び教科）のものしか備えられていない
など、教育関連の図書や雑誌が充実しているようには見受けられなかった。教職を
志す学生が必要な知識・最新の情報を入手することができるように、今後、教職関
連の図書及び雑誌の充実に努めていただきたい。
- 教職関連の図書・雑誌等が、附属図書館、人間社会科学科教育科学コース図書室、
各教員の研究室等に分散して配架されており、最新の資料は図書館よりも研究室に
置いてあるとの説明があったが、学生がそれぞれの資料を活用しやすいように、教
職関連の図書をまとめて配架するなど、今後配架についても御検討いただきたい。

7. その他特記事項

- 東京都教育委員会と共同で実施されている理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー）養成拠点構築事業での現職教員，大学院生を対象とした理科の実験教材の開発等の講座は模範的な取組であると評価できる。今後のより一層の充実を期待する。
- お茶の水女子大学は，今年度実地視察した東京保育専門学校，蒲田保育専門学校をはじめ，5つの教員養成機関の指導大学となっているが，指導大学として指定教員養成機関の教職課程，教員組織及び施設・設備等の在り方について，適切に指導する体制を構築いただきたい。